

会 議 要 旨 録

会 議 名	令和５年度第２回三郷市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和５年１１月１４日（火） １３時３０分開会
開 催 場 所	三郷市 健康福社会館 ５階 ５０１・５０２会議室
出席者氏名	岡田会長、佐々木副会長、市川委員、豊田委員、岩瀬委員、小川委員、高橋委員、佐野委員、小林委員、船引委員、高野委員（欠席：佐藤委員、杉橋委員、多田委員、杉浦委員）
傍 聴 者	０名
事務局職員	須賀子ども未来部長、高橋子ども未来副部長兼子ども支援課長、岡安子ども支援課長補佐兼子ども支援係長、須永子ども支援課主幹兼子育て支援ステーション所長、中井子ども未来部参事兼すこやか課長、玉江すこやか課長補佐、黒木すこやか課保育係長、村澤障がい福祉課主査、木原教育総務課長、西村学校教育部参事兼指導課長、矢野指導課指導係長、渡辺生涯学習課長、千代田子ども政策室長、木下子ども政策室主幹、野本子ども政策室主査、飯箸子ども政策室主査
会議次第 １ 開 会 ２ あいさつ ３ 諮 問 ４ 議 事 （１）「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の中間報告について （２）「（仮称）第３次みさと こども にこにこプラン」について ５ そ の 他 ６ 閉 会	
会議資料 資料１ 「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の中間報告について（概要） 資料２ 「（仮称）第３次みさと こども にこにこプラン」策定に伴う子ども・子育てニーズ調査及び子どもの生活等に関するアンケート調査について 当日配布資料１ 「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の中間報告について（概要） 当日配布資料２－１～２－５ 三郷市子ども・子育てニーズ調査及び子どもの生活等に関するアンケート調査 調査票（案）	

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	1 開 会 2 会長・須賀部長あいさつ 3 諮 問 (会議成立の報告) 本日の出席委員数は15人中11名、子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことを、ご報告いたします。 (傍聴者の報告) 本日、傍聴希望者がおりませんのでご報告いたします。 (配布資料の確認) 4. 議 事 それでは、議事に入ります。 (1)「第2次三郷市児童育成行動計画(後期)」の中間報告について、事務局より説明をお願いします。 事務局 ・「第2次三郷市児童育成行動計画(後期)」の中間報告について説明 ・委員1名からの事前質問に対する担当課回答の報告(別紙参照) 議長(会長) 「第2次三郷市児童育成行動計画(後期)」について説明及び事前質問に対する回答がありました。その他に委員から何かございますか。 委員 今の不登校の対策として相談員を増員するということですが、この相談員は保護者に対する相談員なのか、子どもを連れての相談を受けているのでしょうか。そもそも不登校だと外出して相談に行かないのではないのでしょうか。 事務局 相談につきましてはまず電話での受付がありますので、お子さんの状況によりまして相談状況を伺っております。お子さん連れの場合もありますし、保護者のみの場合もあります。また、学校との連携が上手くいかないということもありますので、教職員も同行して相談を行う等多方面から支援できるよう取り組んでおります。 議長(会長) ありがとうございました。 それでは次の議事に移らせて頂きます。

	(2)「(仮称)第3次みさと こども にこにこプラン」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	・「(仮称)第3次みさと こども にこにこプラン」について説明 ・委員1名からの事前質問に対する担当課回答の報告(別紙参照)
議長(会長)	「(仮称)第3次みさと こども にこにこプラン」について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
委員	前回の保護者の回収率は何の位ですか。
事務局	大体50%程度になります。
委員	児童、生徒は何パーセントになりますか。
事務局	90～ほぼ100%に近い数字になります。
委員	保護者の回収率は十分だと思いますか。満足していませんよね。
事務局	おっしゃる通りだと思います。今回はWeb回答も併用して回収率向上を図ろうと考えています。
委員	実態調査というのは大変重要だと思います。そのためには回答率を上げていくということが大事だと思います。
事務局	この調査が計画に反映される重要な調査であると、ホームページや調査票、封筒にも記載していこうと考えています。
議長(会長)	少しでも回収率を向上させることが正確なデータになりますので、ギリギリまで回答率向上のための工夫をして欲しいと思います。
委員	追加の質問です。アンケートの回答についてですが、インセンティブといますか、何らかのサービスを受けられるメリットがあれば回収率の向上も期待できるのではないかと思います。そのようなことが可能かどうかお伺いしたいのですが。
事務局	今回のアンケートは匿名での回答となっていますので、少し難しいのではないかと感じております。
委員	全体のサンプル数とサイズ、アンケートのサンプル数について妥当なのかどうか。多く取ったからと言って正確なデータになるという訳で

事業者	はないと思うので、費用も当然かかる筈ですので、誤差5%以内を目指しているとか、そういったことをご回答頂ければと思います。 色々な計画策定を各自治体で行っているかと思うのですが、高齢者の関係ですとか、障がい者の関係ですとか。以前まではこういったものはトップダウン形式で行っていたのですが、それではすぐわないということで、ボトムアップ形式になり、数年前からアンケートというものが始まってきています。ただ、ここ数年回収率が落ちてきているのが現状です。子ども・子育てに関しては、対象となる保護者が自分のお子さんを対象としているせいか、熱心に答えられています。50%という数字が良いか悪いかということなのですが、他の調査と比べると高い方です。統計学的には大体 400 弱あれば傾向が出ます。あとは郵送代や印刷代等の費用がかかりますので、その辺りの兼ね合いかと思います。傾向を出すという意味合いですと、これでよろしいかと思います。 また、最近では回収率向上のために Web 調査も取り入れていますが、回答の2～3割が Web となってきております。
議長（会長）	ありがとうございました。
委員	アンケートの対象なのですが、全ての市民に一斉配布して回答を求めるとというのが一般的かと思います。こういうアンケートが届いたと分かる人が回答できるもので、見てもやり方が分からない家庭からのニーズの方をもっと拾い上げた方が良いのではないかと思います。特に支援が必要な家庭では、個別的なニーズが非常に多いのでサービスを用意するのが難しいと思うのですが、一般的に支援が必要な家庭とそうでない家庭とのニーズの差をうまく拾い上げていく方が、より細やかな支援が出来るかと思います。
事務局	全市民に対する調査等は今後の課題になってくると思うのですが、このニーズ調査というのが今回第3回なのですが、継続した回答というものもありますので、今回につきましては、これまでと同様の調査方法と考えております。
議長（会長）	ありがとうございました。
委員	外国の方、日本語の読めない方等支援の必要な家庭について、今までと同じ調査方法になりますか。
事務局	一旦は日本語版で送付しますが、外国の方については、調査票の表面に個別にお話を伺える旨を記載するなど、個別に対応できるように考

	えております。
議長（会長）	その他にございますか。 最後にご連絡があるのかもしれないのですが、このアンケートは今後 どういう予定で進められるのかお聞かせ願いますか。
事務局	調査票の発送が12月初～中旬を考えてまして、回収が1月10日を予 定しております。次回の子ども・子育て会議の時には、どの位回収で きたか速報になりますが報告させて頂いて、来年度、結果をご報告さ せて頂くことになっております。
議長（会長）	はい、ありがとうございます。 その他に、委員の方からご質問ありますか。
委員	先ほどからニーズ調査・アンケート調査という言い方をしていますが、 希望をお伺いするというような調査になっていますが、多分この調査 項目はニーズの傾向調査であって、具体的な個々のニーズ調査という と全市民対象とかになると思います。今回はこのままで行うとしても、 今後はニーズの傾向調査とか少し文言を変えるだけで、このアンケー トの目的が分かりやすくなるのではないかと思います。
議長（会長）	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせて頂きたい と思います。 アンケートを読んで頂くため、もう少し待ちます。
委員	三点あります。 一点目はアンケートの回答しやすさについてになります。正確ではな くて構いませんが、目安の回答時間を記載した方が良いのではないかと 思います。冊子の形ですと、大分時間がかかってしまう、中々取り 組みにくい印象を受けるのではないかと思います。
議長（会長）	大事な審議ですので一点ずつ回答をお願いしたいと思います。
事務局	目安の回答時間については記載予定です。人によって様々かと思いま すので、あくまで目安にはなりますが。
議長（会長）	ありがとうございます。
委員	二点目はアンケートの回答の際に、例えば公的書類を参照する必要が ある場合があれば、その旨記載しておいた方が良いのではないかと思 います。

事務局	回答の際に書類が必要な設問はないと思います。ただ、配偶者についての設問がありますので、それについては事前に分かるように記載を考えております。
議長（会長）	よろしいですか。それでは三点目をお願いします。
委員	三点目は具体的に、この資料はどういう形になるのか少しでも分かるようになればと思ひまして、過去のアンケートの調査結果は皆さんの回答によってこのような形になったという具体例を入れて頂けると、市政にこのように貢献しているのかと分かるのではないかと思います。
事務局	そうですね。ピックアップして記載する、又は、市のホームページに調査結果が出ていますので、そちらの案内を記載する等検討したいと思います。
議長（会長）	貴重なご意見ありがとうございます。
委員	二点あります。 一つ目に、子ども用アンケートにヤングケアラーの設問がありますが、間違っても子どもが少しでも該当するなと思ったら「はい」と答えてしまうようにならないようにして欲しいと思います。ヤングケアラーの定義は書いてありますが、それが常態的なのか突発的なのかの違いははっきりさせた方が良いのかなと思います。
事務局	ありがとうございます。その辺りも考慮いたします。
議長（会長）	定義の問題は難しいですからね。二点目をお願いします。
委員	二つ目は、全体的にふりがなが少ないので、どんな保護者・子どもでも読めるようにした方が良いのではないかと思います。何となく分かった感じで、読み間違えて回答してしまうと、アンケートの精度の問題になってしまうので、ふりがなは全ての漢字に振った方が良いのではないかと思います。
事務局	こちらの意見につきましても検討したいと思います。
議長（会長）	是非、検討して頂ければと思います。ありがとうございます。 それでは本日の議事につきましては、以上で終了とさせていただきます。皆様のご協力によりまして、議事を滞りなく終了することができました。ありがとうございました。それでは、進行を司会者にお返し

事務局	します。 会長、進行いただき、ありがとうございました。続いて事務局からその他について申し上げます。
事務局	5. その他 ・事務局より事務連絡 ・第3回子ども・子育て会議：令和6年2月6日（火）13時30分 健康福社会館5階 501・502 会議室 6. 閉会

委員からの事前質問に対する事務局回答

議事（１）「第２次三郷市児童育成行動計画（後期）」の中間報告について

質問内容：

時代の変化、要請に応じて新たな教育環境整備（施策・事業）の計画について考えられておられるか。

（回答）

新たな教育環境整備として３点取り組みを始めているところです。

一つ目は、国のギガスクール構想により整備した、一人一台タブレット端末を使って学習しております。それを、いつでもどこでも活用できるよう環境整備を進めております。現在は普通教室のみなのですが、理科室や音楽室等使える環境を増やすように整備すると共に、令和６年度には国や県で行われる、オンラインのテストにも対応できるようインターネットに接続する回線の大容量・高速化を図っているところです。

二つ目は、コロナ禍を経て、児童・生徒・保護者の悩みや相談事項が複雑化・多様化しています。誰一人取り残さない不登校対策に向けた教育相談の拡充として第一教育相談室の専任教育相談員を２名増員したところです。教育相談の時間も平日週３回、１９時まで延長し、月２回程度ですが土日の相談にも応じています。また、発達に関する相談も増えています。発達相談のできるカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを各２名ずつ配置し、様々な課題を抱える児童・生徒への支援を行っております。全ての児童・生徒が安心できる居場所作りの実現を目指し、学校等も充実させ、連携強化、情報共有、早期対応や指導のための支援を行っていかうと努めているところです。

三つめは、少子化の進行によりまして生徒数が三郷市でも今後減少が見込まれています。学校の働き方改革の推進等、諸課題解決のためスポーツ庁・文化庁の示す方針に則り、中学校部活動の地域移行を段階的に進めています。現在は、おもしろ遊学館、市内中学校、三郷市陸上競技協会と連携し、陸上競技をモデル事業として活動を始めています。

議事（２）「(仮称) 第３次みさと こども にこにこプラン」について

質問内容：

アンケート調査の回収率向上のために、どのような方策を考えておられるか。

(回答)

本調査は調査項目が多く、特に保護者用では回答内容によっては回答ナンバーが変わることが多い調査となっています。回収率向上のための方策としては、就学前児童の保護者、小学生の保護者、子ども用では15歳～17歳についてはWebでの回収も併用しています。回答項目も回答内容に合わせて自動で表示されますので、Web回答ができることや分かりやすい工夫がされていますので、回収率向上に繋がると考えています。

また、紙で回答される方にも分かりやすい内容となるよう、引き続き検討を進めていきます。

小学5年生、中学生につきましては、前回同様に学校での配布・回収をすることにしておりますので回収率が高くなると考えております。